

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会（メ・ル・ック）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



◆ 目 次 ◆
○活動報告
○お知らせ

♪ホームページ折々に更新中!
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

★2023年 箕面ユネスコ報告会・気仙沼の食材に親しもう★

2023年2月4日、らいとびあ21(萱野中央人権文化センター)で、第1部2022年度活動報告会、第2部「気仙沼の食材に親しもう」の構成で開催されました。第1部の1つ目は、箕面ユネスコユースメンバーによる「世界と地域をつなぐ箕面ユネスコ」です。萱野小学校と豊川北小学校の総合学習で行った「ネパールの学校と箕面の小学校を繋ぐ」の取り組み報告でした。様々な事前学習のあとネパールの学校とリモートで繋ぎ、直にお互いの様子を知ることで「自分たちにとっての当たり前」は決してネパールの子どもたちにとっての当たり前ではない事を実感できたように思いました。



2つ目は、清風南海高校と帝塚山泉ヶ丘高校のインターアクトクラブの生徒さんから「国内研修 in 気仙沼」の報告でした。震災遺構「伝承館」として震災当時のまま保存されている旧気仙沼向洋高校をはじめ、南三陸町防災対策庁舎など、様々な地震や津波による惨状を目の当たりにして言葉を失ったこと、またその中で、被災者の方々の心に寄り添うこと、理解することの難

しさを痛感したとの報告がありました。



第2部「気仙沼の食材に親しもう」では、気仙沼のヤマヨ水産の蒸し牡蠣・郷土めしのはらこ飯・気仙沼ホルモン・サンマの甘露煮・フカカツ(復活にかけたサメ肉のカツ)等々たくさんの気仙沼の味を詰め込んだお弁当(報告会前にスタッフ皆で手作りしました!)を前に、参加者全員で楽しい時間を過ごしました。



あちこちのテーブルから報告についての意見交換や更に深く拡く盛り上がっていく熱い声が聞こえていました。私たち遠く離れた大阪にいる者はネパールの子どもたちやあの震災を経験された被災者の方々の本当の気持ちを実感として解れるものではありません。だからこそ、決して忘れず、報告者の皆さんのように足を運んで、現地と繋がって、



見て、聞いて、知って、そして、自分にできることは何かと考え、行動する、その事こそが当事者の方々に寄り添い、



理解していくことに繋がるのだと強く思いました。きっとこれからも活動の輪を拡げ、多くの人と繋がるヤングパワーに期待を大きくした一日でした。(倉橋 光代)

48号のレターに引き続き、ネパールと箕面を結んだオンライン授業の様子を紹介します。



●箕面市立豊川北小学校 5年生● 世界と出会おう/オンライン授業



子どもたちから、ネパールの生活や学校のことなど、さまざまな質問をしていきます



通訳は、箕面ユネスコ協会コースメンバーのハリスさん、コーディネーターは山田さんです



ネパール寺子屋の先生(サラさん、スックラさん)が笑顔で答えてくださいました

オンライン授業が終わった後に、子どもたちから預かった寄せ書きをネパールに届けました。一人ひとりが、ネパール語で感謝の気持ちを伝える内容です。ネパールと箕面の距離がうんと近づくやとりになりました。

♪ネパールからのコメント

…We are very much pleased to read the messages and very much appreciate their hard work in writing those messages. …



●箕面市立萱野小学校 5年生●

つながろう！スマイルプロジェクト/オンライン授業



箕面のみんなからの質問に応えてくれるのは、ネパールの公立小学校の子どもたちです



歓迎のダンスも踊ってくださって、その上手さにびっくり！



ナマステ～ダンネバード～ありがと～お互いの言葉で元気なあいさつを交歓しました



見せてもらったダンスのお返しに、萱野小の子どもたちは、八木節の演奏や南中ソーランの踊りなどをビデオに録って、ネパールに送りました。和太鼓の演奏もあり、ビデオを通して日本の伝統的な文化を伝えることができました。

♪ネパールからのコメント

…Thank you very much to response our school and students. We would like to great thanks for Kayano school students and teacher team. …

両校とも、1年を通した総合学習のさまざまな場面で箕面ユネスコ協会と協働していただきました。ありがとうございました。この後、豊川北小学校は「ユネスコリーフレットプロジェクト」に参加、萱野小学校は「世界にあるさまざまな問題に切り込む学習」へと学びを発展させておられます。

(大濱 淳子)



●「ユネスコ世界寺子屋運動」リーフレット作品パネル展●
豊川北小学校5年生&東小学校6年生



♪「やさしい街」探検で市民活動センターに来られた萱野小学校4年生のみなさんに運動のことを伝えました

「ユネスコ世界寺子屋運動」は、貧困や紛争などさまざまな理由で学校に行けない子どもたちや教育を受ける機会がないまま大人になった方々のために、日本ユネスコ協会連盟が1989年から続けている活動です。この活動を通して、これまでに538の寺子屋を建設、延べ約134万人の人たちに学ぶ機会を提供してきました。寺子屋を建設、維持していくためには多くの資金が必要です。日本各地のユネスコ協会（279協会）では、書きそんじハガキや未使用切手、プリペイドカードなどを連盟に集約、企業に引き取ってもらうことで現金化し、活動資金にあてています。両校の子どもたちは、ネパールの寺子屋の方々とオンラインで出会ったり、現地でのボランティア活動の話や聞いたりする学習を通し、世界の識字課題

について学びを深めてきました。‘自分たちにできること’の一つとして運動に協力して下さい、書き損じはがきを集めたり、広く知って頂くためのリーフレットプロジェクトに参加したりして下さい。今回は、子どもたちが作った全リーフレットを「(特活)市民活動フォーラムみのお」の協力を得て、パネル展の形でたくさんの方々に見て頂くことができました。



上島市長・藤迫教育長がパネル展に！！



一人ひとりの作品を丁寧に見て、メッセージボードに子どもたちへの温かいコメントを残して下さいました。

♪世界寺子屋リーフレットパネル展を通じて、子どもたちが世界の実情を知り発信しており感服しました。（上島 一彦）

♪まずは「知る」ことが大事だと思います。子どもたちの感じたことを形にして発信することはすばらしいことだと思います。

（藤迫 稔）

ご多忙の中、本当にありがとうございました。

◆須貝 昭子…パネル展が、私の職場である「みのお市民活動センター」のフレキシブルコーナーで開催されました。展示作品は、日本ユネスコ協会連盟が募集している「ユネスコ世界寺子屋運動」応援リーフレット制作の応募に応えた箕面市立豊川北小学校5年生と東小学校6年生の子ども達の作品展です。全国の応募作品の中から各賞を選んで表彰する予定ですが、箕面ユネスコ協会は応募作品をすべて観てもらいたいという思いから、全応募作品を展示することになりました。当初、より多くの人に見てもらいたいと、かやのさんぺい橋での展示も検討しましたが道路申請に時間がなく、館内と土日のみ一部玄関前での展示となりました。展示期間中、当事者の生徒さんや保護者の皆さん、2校の小学校の先生、萱野小学校の授業の一環で来館した4年生の皆さんなど来館下さって、子ども達の作品をじっくりと観覧いただきました。また、この企画の1週間前に、大濱さんと一緒に市長と教育長にアピールしようと市役所にも出向きました。上島市長には直接会えませんでした。藤迫教育長には直接会って大濱さんから開催の主旨と子ども達の作品作りについてお話をすることができました。後日、期間中に教育長、市長が、それぞれ来館して下さいました。来館者に向けてメッセージボードに作品展を観た後にお二人ともしっかりと心強いメッセージを書いて下さったのは嬉しい出来事でした。みのお市民活動センターを会場にしてこの作品展を関係者や多くの皆さんに観て頂けたこと、何より箕面ユネスコ協会の活動のいろいろのひとつになったことは、とても誇らしい限りです。

箕面ユネスコ協会 2023 報告会/ユースチームが発表しました！

私たち箕面ユネスコでは、教育・災害ボランティアなど地域と密接に関わりながら日々活動をしています。ネパールやカンボジアに行った経験のあるユースメンバーが、世界と繋がり、課題を考えることを目的とした総合学習の授業を箕面市の小中学校で行ったことについて発表しました。

事前学習として何度か出前授業を行い、夫々の国の学校の様子、困っていること、日常生活などを経験をもとに子ども達に伝えました。それを経て、オンラインでネパールとつなぎ画面越しにネパールの小学生たちと繋がりました。



▶報告会に使用した写真(左)(日本・ネパールの学校生活)

▶報告会に使用した写真(右)(小学校でのオンライン授業の様子)



言葉も通じない中での(通訳あり)コミュニケーションで、電波が途切れたりする中、子どもたちはその状況を素直に受け入れとても積極的に参加していました。ユースメンバーとして、このような授業をつくっていくこと、関わっていくこと、それを小学生が受けて何かを感じ取



って心が動く様子を目の当たりにし、そのことを皆さんに共有する場があってとても光栄でした。(山田 祐加)

ゆるやかなネットワーク…フォーラムのおボランティアに参加して

2023年2月11日家族で学ぶ防災教室。(土曜日)午前10:00~午後1:00
箕面市立菅野小学校・家庭科調理室でお手伝いしました。

箕面ユネスコ ユースメンバーから!

「もし災害が起こればどうするのか」というのは日頃から考えていましたが、被災時でも出来るだけ普段の生活リズムを整えることで、内面の気持ちを整える事ができるなど新しく知る事もあり、良い経験ができました。(水野 晴翔)



たのしい おいしい やくにたつ
ほろよいまようらつ

家族で学ぶ防災教室

日時 2月11日(土) 10:00~13:00
場所 菅野小学校 家庭科調理室
対象 お子様(6歳くらい)~シニアまで

1じかんめ
考える防災教室
「災害が起きたらどうするの?」
「災害が起きたらどうするの?」
「災害が起きたらどうするの?」

2じかんめ
防災クッキング
「こどもと学ぶ災害時の食事」

メニュー
わかめとツナのお粥
じゃがいものお焼き
ポリ袋クリームスープ

ウェブ投票開始 寺子屋リーフレット



豊川北小学校から2作品がユネスコリーフレットコンクールにエントリーしています。全国からの作品をぜひご覧ください。お気に入り作品へのぼちっと投票もよろしくお願ひします

<https://www.unesco.or.jp/teacher/terakoya-leaflet-vote/>